

2009年5月8日

国土交通省 住宅局 建築指導課
課長 井上 俊之 殿

社団法人 日本建築学会 構造委員会
プレストレストコンクリート構造運営委員会*
主 査 西山 峰広
社団法人 プレストレストコンクリート技術協会
会 長 魚本 健人
線 材 製 品 協 会
常務理事 積山 浩明

緊張材(PC鋼材)に関する告示改正お願いの件

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、JIS G 3536 (PC 鋼線及び PC 鋼撚線)、JIS G 3109 (PC 鋼棒) および JIS G 3137 (細径異形 PC 鋼棒) につきましては、関係各位のご協力により、JIS G 3109 では異形棒を、JIS G 3137 では呼び名の追加を行い、また、これら 3 つの JIS に引張試験の引張速度等の変更を盛り込むことができました。

上記 3 つの JIS に記載されています材料は、建築基準法第 37 条建築材料として「建設省告示第 1446 号第 1 の 21 緊張材」に指定されてその使用が認められております。しかしながら、現行告示 1446 号では JIS の年号が前回改正時のものとなっており、今回の JIS 改正が反映されません。是非とも速やかに告示 1446 号に定められております JIS の年号を 2008 年に改正していただきたくお願い申し上げます。

また、関連します告示 1024 号も併せて改正いただきますようお願いいたします。

敬 具

*この要望は日本建築学会構造委員会の承認を得て、プレストレストコンクリート構造運営委員会の責任において表明する。